

平成30年度第3回松山地域協議会会議録

日 時 平成30年10月11日(木) 午後1時30分～3時10分

場 所 松嶺コミュニティセンター

出席委員 11名

1号委員 平 向 與志雄 齋 藤 吉 男 阿 部 喜久子 後 藤 吉 史
小 松 ノリ子 三 浦 芳 和 後 藤 俊 小 田 和 夫
荘 司 邦 村 山 安 子

3号委員 新 館 武

欠席委員 4名

1号委員 五十嵐 典 子 佐 藤 玲 子 佐 藤 豊 和
2号委員 佐 藤 均

酒田市出席者

地域創生部商工港湾課長	丸 藤 広 明
商工港湾課雇用対策係長	加 藤 浩
商工港湾課雇用対策係主事	鳥 海 秀 人
松山総合支所長兼地域振興課長	遠 藤 裕 一
建設産業課長	柿 崎 弘 志
地域振興課長補佐	五十嵐 昭 一
地域振興課長補佐	出 嶋 亨
建設産業補佐兼建設係長	堀 浩 幸
建設産業課長補佐兼産業係長	石 川 亮 一
地域振興課地域振興係長	阿 彦 求

傍 聴 者

な し

議事日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事録署名人の指名
- 4 議 事

【報告事項】

- (1) まつやま会館閉鎖について

【協議事項】

- (1) 平成31年度松山地域づくり予算について

- 5 その他
- 6 閉 会

1 開 会

(遠藤支所長)

ただいまから平成30年度第3回松山地域協議会を開催いたします。

本日は 五十嵐 典子 委員、佐藤 玲子 委員、佐藤 豊和 委員、佐藤 均 委員 から欠席の連絡をいただいております。なお、本日の会議につきましては、概ね90分を目途としておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは小田会長よりごあいさつをお願いいたします。

2. 会長あいさつ

(小田会長)

こんにちは。お集りいただきありがとうございます。今日は報告事項、協議事項が1件ずつあります。平成30年も半ば過ぎましたので来年度の課題も入ってきているようです。皆様方が日頃感じていることを率直に話し合えればと思います。それではよろしくお願いいたします。

(遠藤支所長)

ありがとうございました。

3. 議事録署人の選出

(遠藤支所長)

議事録署名人につきましては、酒田市地域協議会設置条例施行規則第5条第2項及び申し合わせ事項により、小松 ノリ子 委員 をお願いいたします。

また、会議の議長につきましては、酒田市地域協議会設置条例第6条第2項の規定により、小田 会長をお願いいたします。

4. 議 事

(小田会長)

それでは90分といった時間の中で収めたいと存じますのでご協力をお願いします。

早速、議事に入ります。はじめに「まつやま会館閉鎖について」、商工港湾課より説明をお願いします。

(丸藤課長)

～資料に基づき説明～

(小田会長)

報告案件ですので、何かご質問があればお願いします。

(小松委員)

会館の財産は無かったのでしょうか。

(加藤係長)

酒田市の備品が一部ありますが、それは再利用できるものは可能な限り別の施設で利用させていただきます。

(小松委員)

わかりました。

(後藤吉委員)

備品というのは絵灯籠のことですか。

(加藤係長)

絵灯籠は酒田市の備品にはなっておりません。ふれあい商工会からの情報によれば旧観光物産

協会で購入したものと伺っています。

(小田会長)

まつやま会館の中にある備品は全て撤去するのですか。

(丸藤課長)

まずは会館においておき、どうしても不要ということになれば市で撤去します。よって、すぐに撤去するということは考えておりません。

(小田会長)

それでは現状では申し込みがあれば使えるということですか。

(丸藤課長)

来年の3月いっぱいまでは使用できますが、それ以降は維持管理費などの問題がありますので使用しません。

(小田会長)

草木舎のトイレは使えますか。

(丸藤課長)

その部分は草木舎に賃貸するといった形になります。

(小松委員)

このような使用形態になる場合、電気はどうなりますか。誰もいないところに通電するのは危ないと思いますのでお伺いします。

(加藤係長)

電気については、全く無人になる場合には完全に止めることにはなりますが、まつやま会館には方針が決まるまで草木舎がテナントとして残りますので草木舎が使用する部分だけ生かします。

(小田会長)

その他、無いでしょうか。無いようですので、本件については終了します。ここで、商工港湾課の皆さんは退席します。どうも御苦労さまでした。

～商工港湾課 退席～

(小田会長)

次に協議事項に入ります。「平成31年度松山地域づくり予算について」、事務局より補足説明

をお願いします。

(遠藤支所長、柿崎課長)

～資料に基づき説明～

(小田会長)

ただいまの説明に対し、ご意見、ご質問はありませんか。

(小松委員)

花いっぱいとは来年から無くなるのですか。

(柿崎課長)

全ての自治会から今年はできないと言われましたので取りやめます。但し、他の事業で何か花いっばいに代わるものがないか検討中です。

(小松委員)

みんな高齢で大変だとは聞いているが…。

(柿崎課長)

種からは大変だということで松山だけ苗からの提供を行ってきましたが、水かけなどの維持管理が大変だということがやめる大きな要因となりました。

(小松委員)

わかりました。

(三浦委員)

支所の課題のひとつである「交流人口の拡大」というのは、十数年前からずっと続いていることですが、何をどうすれば交流人口の拡大になるのかといった具体的な話は何も出てきていません。交流人口の拡大といった命題は大きいのですが今はゼロの状態にあると思っています。「少し増やしましょう。」というくらいであればわかるのですが…。

(遠藤支所長)

交流人口の拡大については、いろいろな事業でできると思っています。例えば「くらふとフェア」なども大きな交流事業になるわけで、これを通して歴史・文化の町松山をPRできます。今年の入込数は約7,300人ですが、その中で私が顔を見たことない人が7～8割はありました。ということはほとんど松山地域外からの来訪者ということになります。それ以外にも御朱印ツア

ーやアララギ山のトレッキングなどのイベントを行うと、松山地域外からの訪問者の方が圧倒的に多い。これらを通して交流人口の拡大が図られているものと考えております。また、今の段階ではイベント以外で交流人口を増やそうというのは難しいと思います。

(柿崎課長)

山の上については、委員のおっしゃるとおり子どもをターゲットにしたイベントやアマチュアバンドコンサートなど、保育園児から30代くらいといった若い世代の導線を確認するようなものを考えたいと思っております。比較的長いスパンで眺海の森に行けば常に人がいるといった状況を作り上げていきたいと思っております。なお、都合3回クルーズ船が来港しましたが、約40名の外国人が松山を訪れております。

(三浦委員)

イベント企画で盛り上げるのもいいでしょうが、実際に一服する場とか、昼食を食べる場とかをNPO法人とタイアップしていければいいと思っております。とにかく松山は宣伝が下手なような気がします。地元の人でも知らない人が多いこともあります。

(柿崎課長)

昨年、建設産業課でまとめた眺海の森の検討報告書の中でも松山のことを知らない人がほとんどでした。来年の事業では広告宣伝費を多く要求していますので、大いに活用したい考えています。

(村山委員)

ごみ処理分別に対する要望です。今年のごみ処理ルールカレンダーは従来に比べて画期的でありました。これまでは毎年暦を軸にしておりましたが、30年度版はごみルールの仕分けの注意書を中心としたカレンダーで見やすく助かりました。しかしごみの収集車が燃える火災が県下で毎年発生しており、今年も山形市、鶴岡市、酒田市でありました。原因はスプレー缶の処理の仕方が35市町村でそれぞれ異なっており、かつては使い切り穴をあける処理方法から穴をあけ不要に変更されたことで、わかりにくいのが実情です。もうひとつ今年のごみ減量大作戦の重点目標として雑がみを資源としてリサイクルに掲げたことを評価します。というのはごみ問題の終局の目標はいかに埋め立てごみと燃やすごみの分量を減らせるかにかかっており、その解決方法は資源物資の分別以外にないからです。ビニールやポリエステル等を燃やすことはダイオキシ

ンは出さずとも二酸化炭素は出るので年々海面が上がり、地球の温暖化現象による人災が自然破壊に拍車をかけて異常気象が起きていると言われております。ここ数年、地震、津波、台風など想定外の災害が日本各地に頻繁に起こるようになり、日本の四季もいつの間にか無くなり、夏と冬の二極化現象になっています。地球環境の破壊は人類や生き物にとって最大の不幸です。酒田市ひとり1日当たりのごみの排出量は県内13市の中でトップだそうで、それは取りも直さずごみの処理経費もトップであることに直結しています。人口比も世帯数もトップではないので、無駄な支出は行政と市民が一丸となって協力し合えばいくらかでも節約できる課題だと思えるし、さらにそのことは環境保護にも連動します。燃えるごみの44%が紙類で、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック等は既に紙資源として定着しております。今後は雑がみをも徹底的にリサイクルするため、ごみカレンダーのほかにも雑紙類を中心にした紙資源物資の出し方などの注意書き、即ち、燃やすごみとの明確な区別のチラシを1回くらいは配布してほしいものです。燃やすごみ袋にしても記名自治会と無記名自治会とがあり、衛生委員もいらっしゃるのになぜ統一できないのでしょうか。どちらでもよいのであればなんのために印刷したごみ袋を使用するのか理解不明です。分別の不徹底や収集日以外の日にごみを出すなどの違反もあり、ルールの再構築が必要です。行政も市民も周知徹底できないことが問題なのだと考えます。平成22年度に環境保護政策先進国であるドイツ連邦共和国に2週間の自費海外研修に参加しました。将来を見据えて教育制度をはじめとして農業や産業など生涯を通しての綿密なリサイクル対策がなされて、環境政策は一貫して無駄を無くする政策で、ドイツがヨーロッパで一番財政力を持ち、原発ゼロ宣言を発信できる豊かな国であることの説得性がありました。他方、24年度にもこれとは全く真逆のスペインにも2週間の自費研修参加をしました。規制が少なく自由奔放な国柄は芸術家たちが暮らすには最高の国であると実感しました。しかし財政破たんの重いリスクを背負っており、日本も肝心なことは先送りにして目先の場当たりの政策に慣れてしまい、展望のない将来が懸念されます。未来のため、少なくとも処理組合の管内、やがては県内全体でルールが統一化されることを強く要望いたします。

(小田会長)

ごみ全体の参考意見として取り上げてください。

(遠藤支所長)

村山委員のご発言は受け止めさせていただきます。ごみルールの徹底、記名、無記名は酒田市の中でも統一されていないのが実情です。ちなみに松山地域は記名することになっています。ごみ集積所の管理は自治会にお願いしておりますが、私自身、きっちりごみを管理するためには名前を書くことが必要だと考えていました。ただその一方でプライバシーの問題があり強制はできないといった市の判断もあります。

(村山委員)

前任者から聞いたことですが、記名しないと、例えば違反があった場合、違反者を捜し歩くことはかえってパワハラにつながるからということでした。記名していれば、違反者に直接注意できるしそれはパワハラには当たりません。また違反者も次回から改心すると思われます。それが、書いても書かなくてもよいといった取り決めになって不満の声が出てきています。とにかくどちらかに徹底してほしいと思います。

(柿崎課長)

私は市街地に住んでいますが、明らかに自治会の属していないよそ者が捨てに来るといった例もあって、記名以前にごみ集積所へのごみの捨て方からルールが守られていないことがあります。

(小田会長)

是非、今の意見を副市長に伝えてほしいと思います。ごみの減量化のみならずごみの有料化についても一時期出てますので、是非酒田市全体のルール付けを提言していただければ行政としてもありがたいだろうと考えます。以上でごみについては終了します。

(新館委員)

松山に観光に値するものはいくつかありますが一番は景観対策であると考えます。松山らしい景観を意識したものを予算要求の中に盛り込んでいただきたいと思います。

外山は山菜取りをいったとき倒木などもあって非常に荒れておりました。松山において外山も観光的要素がありますので、眺海の森周辺のみならず山全体をきれいにしていきたいと思ひます。

最近あちらこちらの市でマラソン大会が開催されているようですが、松山は端から端までずっと最上川に接しているといった地域であり、このようなところは他にはないと思われるので、これを活かした催しを考えてはいかがでしょうか。

(遠藤支所長)

いずれもご意見として承ります。景観につきましては、酒田市景観条例の中で松山城大手門周辺は景観重点地域に指定されており、構築物にも一定の制限がかけられております。

(新館委員)

そのエリア以外でも昔の風情が残っているところもあると思われるので、かつての松山藩を彷彿させる景観を保守するといった考えです。

(遠藤支所長)

現在、松山の宝推進事業でいろいろな仕掛けを行っていますが、一番関心を持っていただきたいのが地元の人たちです。地元の人が地元の地域のことも知らないのでは、交流人口の拡大も難しいのではないかとと思います。

(新館委員)

まちの人がまちの良さを知らないではいいものは作れません。そこで、まちの人が行くような仕掛けづくりが大事と思っています。

(後藤俊委員)

先ほどの眺海の森の利活用についての関連ですが、広告宣伝での周知について、一番効果があるのはテレビです。そこで自分としてもテレビ局にいろいろと投げかけてはおりますが、なかなか民間ではインパクトがないのか返事が来ません。そこでイベントの内容が公共性のあるものであればニュースとして取り上げていただくよう行政から力添えをお願いしたい。

(柿崎課長)

くらふとフェアは開催当初から広告宣伝を打っています。ライブイベントにしても2カ月前から広告宣伝をしないとだめですと言われております。行政が催しをメディアに出す際には、その催しが地元でどれだけ盛り上がっているかがバロメーターになります。その盛り上がりをもどくようにして作っていくかは逆に行政だけではできないので皆さんからの協力が必要になると思います。

(遠藤支所長)

松山でイベントがある場合、記者クラブへの取材要請は全て行っています。ただ、そのイベントを取材に来るかどうかについては、各の記者が判断に委ねられることとなりますので、取材す

る価値のイベントであると思わせるような仕掛けや盛り上がりが必要になります。

(小松委員)

夏休みに南部地区から小学生の学習教室を開催するから来てほしいといった要請があり、一週間行ってきました。以前は里仁館で行っていましたが酒田に教室を移したものです。それを地見興屋で行ったことは評価します。退職して間もない元気な先生もいらっしゃるので、他の地域でもやってみてはどうでしょうか。また、景観について、松嶺の玄関先にある空き家2件がどうしても気になります。何年来、手つかずのままにあることが非常に残念です。ここを更地にする何らかの強力な手段はないのでしょうか。

(遠藤支所長)

空き家の処理について、強力な手段としては行政代執行などがありますが、近隣住民に迷惑をかけているなどの相当な理由と手続きが必要であり、実際にはそこまで踏み込めないのが実情です。同様の理由から市街地の空き家対策にも進まない案件があります。

(小田会長)

自分の自治会にも4件ほどの空き家がありますが一切手出しはできません。社会福祉協議会でも名前をあげるだけで、それ以上の手出しはできない状況にあります。

(齋藤吉委員)

林道改修事業にある中山線というのは山の上だけでしょうか。

(柿崎課長)

現在被災している箇所を引き続き行うということで、新しいところに着手するものではありません。

(齋藤吉委員)

山寺から上がる場所は含まれてないのですか。

(柿崎課長)

含まれておりません。

(齋藤吉委員)

ホテル観察とありますが、コミセンでも小学生を対象とした観察を行っています。ただ、松山地域外からの来訪者は場所がわからないといった問い合わせがよくあります。その解決策はどの

ようにおこなっていますか。

(出嶋補佐)

ホテル観察への来訪者は多目的運動広場の駐車場をお願いしております。迷わないように大きな道を選んで案内誘導していますが、それでもわからないようであれば、また別の手段を考えていきます。

(齋藤吉委員)

よろしく申し上げます。

(平向委員)

先ほどは小松委員から南部教室の紹介をいただきありがとうございました。コミセンにせっかくエアコンのつく部屋があるので、ご父兄の方に午前中利用しますかと呼びかけたところ、是非利用させていただきたいといった声があったことから2週間ほど開かせていただきました。全くコミセンで対応するというので始めましたが、それが教職員OBの方々の耳に入りましてご協力をいただきました。全てをコミセン主導で行おうとしておりましたので、謝礼も全く準備しておりませんでした。ご協力をいただいた方々には厚く御礼を申し上げます。

さて、来年度予算について、松山地域は他の支所管内と持っている文化が違いますのでバラエティに富んでおります。そこのところは大事にしたいと考えています。自分がとても羨ましく感じるのは八幡の玉簾の滝です。いつでもライトアップの様子がテレビで放映されます。これを松山に置き換えるとなんだらうと考えると、松山まつりの武者行列と思いますので、行政を含めみんなで力を出し合ってもっと勇壮な行列にしたいと思います。そうでないとテレビ映えしないし、観に来る人たちにとっても面白みがない。現有のものをどうしたらグレードアップできるかを考えていかなければならないと思います。新しいものへの取り組みも必要かと思いますが、現有のものを見直していくことも必要と考えます。

最後に、情報の出し方についても全て行政任せにするのではなく関係者がどんどん発信しているといいものと思います。ただこのような特色ある事業を行っていても松山の人たちに情報が行き届いておりません。そこで提案ですが、まつやま広報等で個々のイベントお知らせを行うのではなく、例えば「松山かわら版発行事業」と称し、月1回、1ヵ月スパンでのイベント情報を流し、地域の頑張りをアピールしてはいかがでしょうか。そうでないとどこの地区で何のイベン

トをやっているのかわかりません。情報提供の仕方を工夫してください。

5. その他

(小田会長)

それでは「その他」に入ります。委員の皆さんから何かありますか。

(荘司委員)

去る9月に川鶉の駆除についての防災無線放送がありましたが、その時の文言が「庄内町清川橋から平田地区の庄内大橋まで」といったものでした。松山の住民としては「庄内町清川橋」と言われてもピンときません。「庄内町清川橋」の代わりに「松山地域荒興野の清川橋」からと言われた方がすんなり耳に入ります。

(支所長)

わかりました。これからは松山地域の皆さんにすんなり受け入れられるような文言に修正します。

(荘司委員)

9月30日に第三中学校区内で防災訓練を行う旨の無線放送がありましたが、そのとき丁度大型台風が日本列島を縦断するときでしたので、午前8時に訓練放送を伝えるエリアメールが鳴ったときはびっくりしました。この防災訓練は松山地域には関係のないことですので、みんなが緊張しているときに流すべきものではないと思います。

(遠藤支所長)

ご意見として受け止めます。

(荘司委員)

消防署のことですが、秋の収穫が終盤を迎え、防虫駆除の一貫としてこれまでこの地域では枯葉を野焼きする習慣がありますが、ある高齢の方から、若い消防署員がかなり威張った態度で注意されるということで苦言を呈されましたので、もっと優しい態度で接することはできないものなのか、ご意見として申し上げます。

(遠藤支所長)

消防署に伝えます。

(柿崎課長)

野焼きで死者が出ているといった事実もあることから叱責したものと思います。

(阿部委員)

前回「さんさん」の件でお話がありましたが、入浴が中止になってから何か反響がありますか。

(後藤俊委員)

中止当初は常連さんより何でといった声がありましたが、今はそんなにありません。

(小田会長)

昨年、日東ベストから38名が来訪され、自分が観光ボランティアガイドを行いましたが、来訪者から「松山には歴史的経過、景観がある。文学がある。ここは半日コースの学習の場になりますよ。」と言われました。来訪者38名の内訳は3名が日東ベストの社員で他の35名は全国の取引先企業からの招待者だそうです。帰りもここから、余目駅、新庄駅、庄内空港など各方面にバスを出しておりました。これはいい事業になるなと思いました。せめて来訪者にはお礼のしを送ってはどうでしょうか。提案いたします。

(小松委員)

観光ボランティアガイドは何人いるのですか。

(遠藤支所長)

現在2名です。

(小田会長)

他に無いようですので、以上で締めたいと思います。

6. 閉 会

(遠藤支所長)

それではこれもちまして第3回松山地域協議会を終了いたします。委員の皆さま方には円滑な議事進行にご協力を賜りありがとうございました。